

よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

ガンバってます!! 非行防止キャンペーン

★ 7月3日 横須賀中央地区

『非行防止にご協力お願いします』不入斗、常葉、大津中学校の生徒27名、学校長、先生5名、推進員23名の総勢55名で、16時から横須賀中央駅前で、チラシ、ティッシュ、風船を配りながら呼びかけをしました。

時々小雨が降りとても蒸し暑い中不入斗の生徒が着ぐるみを着て、大汗をか



きながらやってくれました。

呼びかけも初めは恥ずかしく小さな声で、チラシを渡す手もすぐ引っ込めてしまう感じでしたが、だんだん慣れてくると呼びかけも大きな声になり渡すコツも覚え、もらってくれる方も増えてきました。

終了後生徒は「楽しかったけど受け取ってもらるのが難しかった」「同世代の人が受け取ってくれたのは嬉しかった」

先生は「子どもたちの笑顔のおかげで受け取ってくれる方が多かったと思います」と語ってくれました。

このキャンペーンが少しでも実を結んでいくと、嬉しいと思います。(松元 陽子)

★ 7月24日 追浜地区

「あつい！」そんな声があちこちから聞こえてくる猛暑の中、15時より学校長、先生、中学生、高校生の手伝いで風船作り開始。

吉田市長、市議会議員、推進員12名、自治会長4名、保護司他総数54名が参加。

16時より市長みずからティッシュ配りをし、その後汐入の非行防止キャンペーンへ。

学校長と卒業生との出会いがあったり、中学の女子生徒の手渡しに、顔をほころばせてティッシュやチラシを受け取ってくれたり、一時間はあっという間に過ぎてしまいました。着ぐるみを着た高校生は汗びっしょりかきながらも小さな子どもが喜んでくれると、

一生懸命相手をしてくれました。

大人から子どもまで皆で力を合わせて「非行防止キャンペーンをしています」との声かけに道行く人が笑顔でチラシを受け取ってくれるのはとても嬉しいことです。今年は中学生18名、高校生4名も手伝ってくれました。

若い人の力に感謝。(萩原 康子)



★ 7月24日 汐入地区

今年も「非行防止キャンペーン」を暑さに負けず元気に行いました。

16時から汐入駅周辺、メルキュールホテル前、ダイエー近辺という事で、暑さの心配をしていましたが、やはりまだまだ涼しくならず、その上風も強い悪条件でした。

坂本中学校生徒18名をはじめ各学校長・先生並びに坂本中学校区地域育成関係者など総勢60名の方々には、配ったお茶で水分補給をしながらの協力をお願いしました。

準備したティッシュ、チラシ、風



船を3ヶ所で配布し、途中からは追浜の「非行防止キャンペーン」に参加していた吉田市長も応援に駆けつけてくれました。

このような活動にいろいろな人が足を止め、興味を示してくれたことで小さな輪がやがて大きな輪になってくれることを予感した一日でした。

なによりも炎天下に着ぐるみを着てガンバってくれた生徒をはじめ、何事も無く無事終了したことが一番良かったと痛感しております。(佐藤 洋子)

☆ 新任者研修会 一昼の部ー

5月14日 はぐくみかん

まず、青少年育成推進員の成り立ち、組織、活動内容そして連絡協議会においては広報、研修、育成、環境の各研究部会に所属して活動することについて説明がありました。

地域においては、中学校区にある青少年育成活動地域連絡会に所属し、町内会・学校関係者、その他青少年関係団体との情報交換やパトロールを通して、子どもを健全に育成する等の講習を受けました。

次に、はぐくみかん見学です。プライバシー保護や安全性においてよく管理されているとしました。

見学の後、パトロールの実践です。最初に「無理に年齢を聞かない」「声かけの言葉に気をつける」等の説明をうけていざ！出発。

大人の目から死角になっている子どもが集まりやすい場所や、裏道を通りながら40分ほどのパトロールを終えましたが午後3時ごろだったせいか、学生の姿もまばらでした。

声かけの基本は、頭ごなしにならないようにということ、とても大事なことです。また、子どもたちは仲間をとるときは、集団心理が働き、乱暴な行動をとることも考えられるので人通りの少ない場所や夜間などは絶対にひとり声かけしないようにとのことでした。

本日は足早の研修でしたが、身近にいる子どもたちに目を向けるよう、活動していこうと思いました。(杉崎 きよみ)

☆ 新任者研修会 一夜の部ー

5月14日 総合福祉会館

私は2期目ですが、他地区ではパトロールをどのように行っているのか興味があり、夜の部に参加しました。

最初は役員から連絡協議会の組織の説明があり、とてもわかりやすく私も興味深く、自然と耳を傾けていました。

そしていざパトロールへ。地域柄もあると思いますが、ゲームセンターへ行ってみると、若い世代の父母が子どもと一緒にゲームを楽しんでいる姿がありました。時間が遅かったので「お母さん18時以降は子どもの立ち入り禁止ですよ」と声かけをすると、子どもに言い聞かせる親、場所を変える親等様々な現場の空気を複雑な思いで目の当たりにしました。地域で声かけをして安心安全な街づくりのため、今後推進員として活動していきたいです。(沼田 初恵)



★ 夏の思い出の1ページ

7月27日 北下浦中学校

7月27日、北下浦中学校区夏のイベント『そうめん流し』を実施しました。地域の幼い子どもからお年寄りの方も楽しみにしているイベントで、参加人数も毎年増えています。

準備の竹取りから参加した中学生たちは、当日、取ってきた竹を使って箸立てや器などを作っていました。また、他の中学生たちも、ネギをきざんだり、みかんの缶詰を開けたり、そうめんを流したりと、さまざまに働いてくれました。

食べる段になると今度は、そ



うめんの中に缶詰のみかんが流れてきたと喜ぶ無邪気な一面、小さな子どもにそうめんを取ってあげたりする優しい一面を見せてくれました。

そうめん流しを通して見せてくれた中学生たちの輝きを、私たち地域連絡会は地域の方々や中学校と協力してサポートしたいと考えております。

8月には長沢中学校区の方と一緒に『サマーコンサート』も行います。高校吹奏楽や及北中学校の軽音楽も地域の方に聞いていただきました。(小幡 玲子)

☆ 横須賀三浦地域青少年指導員活動研究会

6月9日 県横須賀合同庁舎

梅雨の晴れ間の太陽がまぶしい中、横須賀三浦地域青少年指導員活動研究会の「思いやりの心を育てるレクリエーション」が開催されました。講師は、白梅学園短期大学で社会福祉士と介護士の資格を持つ高橋紀子さん。

第一印象は「太陽みたいな人」で、とてもはつらつとしていて、話し出すとその場の雰囲気はパッと明るくなるのがわかりました。

そんな楽しい雰囲気です。いろいろな「思いやりの心を育てるレクリエーション」を体験しました。例えば2人1組になって1人が目をつぶってのじゃんけんです。目をつぶった方は相手が何を出したか分からないので、普通に「じゃんけんぽん」と言っても自分が勝ったのか負けたのかわかりません。ここで目を開けている人が「じゃんけんパー、じゃんけんグー」と声を出してあげると相手は自分が勝ったのか負けたのかがその場でわかります。これが「相手を思いやる心」なのです。

高橋さんは「レクリエーションとは生活を豊かにすること」だと話されました。子どもたちの心を豊かにするためにはレクリエーションを通じて子どもたちを慈しみ育て「あのおじちゃん、おばちゃんと一緒に居ると楽しい」という雰囲気を地域の子どもたちに広めていくことが私たちの役割であると感じました。(牛越 竜夫)



★ 青少年の健全育成を進める県民大会

7月10日 厚木市文化会館大ホール

かながわ青少年社会環境健全化推進会議、県青少年総合対策本部及び厚木市の主催で、関係65団体約1000人の参加で開催されました。

青少年をめぐる問題が深刻化する中で、今大人として何が出来るかを考える場として、開式に続きパネルディスカッションを行った後、大会アピールが採択されました。

コーディネーターに神奈川大学の久田邦明氏、パネリストとして小田原市のびよびよクラブ椎野典子氏、県立永谷高校周辺コンビニ連絡協議会副委員長西木治夫氏、森の里地区青少年健全育成会連絡協議会長青木信二氏、青少年パネリストとして3名の高校生を迎え、テーマは「青少年と大人が共に担う地域の活動を」で行われました。

椎野氏は保護者・母親教育のため伝統行事紹介から中高生ボランティア体験、家庭教育の実践と、幅広い幼児～親子支援の経験を話されました。

西木氏は警察・学校・PTAとコンビニが連携し店頭でシールを貼って一年半で万引きが激減した。高校生の相手をしてあげる大人たちの出現が大事であると話されました。

青木氏は中学生が地域で活躍できる場として「まつり」等ふれあいを通じて子ども・若者の力が大人へ好影響を与える。学校でのキャンプと防災訓練の合同開催や「ミニ佐倉」にヒントを得たミニもりプロジェクトとして大人の模擬店の中で「働き・稼ぎ・使う」という会員通貨でのショップ体験やドロリンピックなどで人と人が繋がる。子どもは地域作りのパートナー等の話をされました。

高校生からは「あいさつは心と心をつなぐ架け橋ではないか」などの提起もあり、大変有意義な大会となりました。

(芦澤 雄一)

♪ ゆうやけこやけ ♪

今年の例年になく暑い夏の最中、地域のお祭りを目にしたこと。「おう、今年は暑かったけど頑張って太鼓の練習に来たなあ」「・・・うん、楽しかった・・・」「また来年待ってるからな。今度は山車の上でやらせてやるぞ！」地域の世話役のおじさんと、ちょっと恥ずかし気な小学生とのやりとりです。普段は目を合わせてくれない中学生もお祭りの雰囲気のせいにおしゃべりに花が咲き、大人に混じってお囃子で大活躍。年に一度のお祭りは地域の人との繋がりを痛感する時です。希薄な人間関係が元凶で起こる悲しいニュースが多くなる昨今、たった年に一度のお祭りで話すだけの関係でも、とても大切なものと感じます。来年、あの小学生達も山車の上で楽しそうに太鼓を叩くことでしょう。(Y. A)

編集後記：

ベテラン推進員の方々から編集作業の役割、分担等の説明を受け、新しい仲間とともに32名でスタートしました。育成推進員の活動内容をできるかぎりたくさんお伝えし、より多くの方々に知っていただきたいと思います。また、この活動を通じてお互いの親睦を深め、その輪が各中学校区の皆さまに広がっていけばと思っております。(編集担当 渡辺美子)

「よこすか育成通信」第9号

発行/横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長 安藤 隆正

〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市役所こども育成部
こども青少年企画課内

TEL 046-822-8223

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/hagukumikan/ikusei/